



平成28年4月8日

各 位

上場会社名 株式会社 カワサキ
 代表者 代表取締役社長 川崎 治
 (コード番号 3045)
 問合せ先責任者 取締役管理部部長 堀田 義行
 (TEL 072-439-8011)

デリバティブ評価損計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年10月15日に公表した業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年8月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年9月1日～平成28年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,076	123	122	73	64.36
今回修正予想(B)	1,048	111	52	31	28.59
増減額(B-A)	△28	△12	△70	△42	
増減率(%)	△2.7	△9.8	△57.4	△57.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年8月期第2四半期)	1,086	119	135	69	60.49

平成28年8月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,175	259	255	158	138.76
今回修正予想(B)	2,121	199	155	91	84.57
増減額(B-A)	△54	△60	△100	△67	
増減率(%)	△2.5	△23.2	△39.2	△42.4	
(ご参考)前期実績 (平成27年8月期)	2,156	193	228	154	134.26

平成28年8月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年9月1日～平成28年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,003	114	113	66	57.92
今回修正予想(B)	972	96	40	21	19.75
増減額(B-A)	△31	△18	△73	△45	
増減率(%)	△3.1	△15.8	△64.6	△68.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年8月期第2四半期)	903	129	149	93	80.95

平成28年8月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,032	245	243	148	129.76
今回修正予想(B)	1,970	182	141	83	77.62
増減額(B-A)	△62	△63	△102	△65	
増減率(%)	△3.1	△25.7	△42.0	△43.9	
(ご参考)前期実績 (平成27年8月期)	1,747	214	254	281	245.12

修正の理由

1.第2四半期連結累計期間連結業績予想

売上高は顧客の買い控え等により、前回発表から28百万円(2.7%)減少し1,048百万円となる見込みであります。利益面におきましては、売上の減少に伴い営業利益は前回発表から12百万円(9.8%)減少し111百万円となる見込みであります。更に第2四半期会計期間末の為替レート(対ドル円、対ユーロ円)が前回予想時の想定為替レートよりも円高となったため、第2四半期累計期間において「包括的長期為替予約」の評価損等約58百万円を営業外費用(為替差損)に計上することとなり、第2四半期累計期間の経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前回予想を下回る見込みであります。尚、当社が行っている「包括的長期為替予約」は実需に対応し、仕入コストの安定化のために実施しており、投機目的によるものではありませんが、ヘッジ会計の要件を満たしていないため、期末ごとに時価評価した上で損益処理しております。

2.通期連結業績予想

第2四半期連結業績予想の修正と同様の理由により、売上高、営業利益は前回予想を下回る見込みであります。また、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、当会計年度末の為替レート(対ドル円、対ユーロ円)が第2四半期会計期間末の為替レートと同一と想定すると、当会計年度決算においても「包括的長期為替予約」の評価損等約58百万円を営業外費用(為替差損)に計上することになり、前回予想を下回る見込みであります。

3.個別業績予想修正の理由

個別業績予想に関しましても、連結業績予想の修正と同様の理由により修正しております。

4.デリバティブ評価損について

第2四半期累計期間(連結・個別)において「包括的長期為替予約」に伴う評価損等約58百万円が発生し営業外費用(為替差損)として計上する見込みであります。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上